5 小麦奨励品種「関東117号」

福島県農業試験場 種芸部・相馬支場 平成5~11年度 麦類奨励品種決定調査成績 書 分類コード 02-02-01000000

I 新技術の解説

1 要旨

- (1) 小麦「関東117号」を新たに奨励品種に採用する。
- (2) 「関東117号」は、昭和61年5月に、農林水産省農業研究センターで「関東107号」を母、「関東105号」を 父として交配・育成された。

平成5年度から農業試験場本場と相馬支場の奨励品種決定基本調査、平成6年度からは奨励品種決定調査現地調査に供試され、本県での適応性を検討してきた。

- (3) 「関東117号」は、低アミロース系統で、めんに加工した場合の粘弾性が高く、めんの食感が優れる。
- (4)「関東117号」は、「トヨホコムギ」に優る多収で、外観品質も優る。
- (5) 「関東117号」は、「トヨホコムギ」並の<u>中生種</u>で、播性は「I」である。稈の太さ・稈長・穂長はいずれも「トヨホコムギ」並で、穂数はやや少ない。

叢生は、「やや立」、株の開閉は「中」である。有芒で、芒長は「中」、穂の色は「白」である。

(6)「関東117号」の穂発芽性は、「トヨホコムギ」よりやや弱い「中」で、耐倒伏性は「強」、耐雪性は「中」である。<u>うどんこ病抵抗性</u>は「弱」、赤さび病抵抗性は「強」、赤かび病抵抗性は「極強」で、総じた病害抵抗性は「トヨホコムギ」並である。

2 期待される効果

「関東117号」の導入により、中生小麦作付地帯の収量性・外観品質向上が図られる。まためん加工適性が高いことで実需者ニーズに対応でき、麦類が民間流通に移行される中、小麦作の安定化と収益性が向上される。また現在福島県の麦作付けの主流である飼料用大麦から小麦への転換が進み、主要穀類の自給率向上に寄与される。

3 適用範囲

中通り・浜通りの「トヨホコムギ」および飼料大麦作付地帯を対象とする。 普及見込み面積は50haである。

4 普及上の留意点

品質向上のため、適正な施肥管理を行うこと。 うどんこ病抵抗性は、弱であるため適期防除を実施すること。 品種登録中であるため、命名登録後奨励品種に採用する。

Ⅱ 具体的データ等

1 めん官能試験

試験 年次	品種系統名	色 (20)	外 観 (15)	かたさ (10)	食 粘弾性 (25)	<u>感</u> 滑らかさ (15)	食 味 (15)	合 計 (100)
∓9	関東117号*	15.2	10.7	7.6	19.2	12.1	11.4	76.2
	トヨホコムギ*	15.8	11.3	7.0	17.7	11.0	10.2	73.0
	ASW	18.5	11.8	7.5	18.3	11.9	11.7	79.7
	農林61号	15.0	10.5	7.0	17.5	10.5	10.5	70.0
平10	関東117号*	13.3	11.2	7.4	19.3	11.8	11.4	74.3
	アブクマワセ**	15.4	10.5	6.4	16.9	10.1	9.8	69.2
	ASW	17.1	11.8	7.3	17.8	11.0	9.6	74.6
	農林61号	15.0	10.5	7.0	17.5	10.5	10.5	70.0

^{*}相馬支場産、**農試本場産。

平成9年度は東北農試、平成10年度は農業研究センターによる。

項目の下の()は配点

2 栽培試験

系 統 名	関東117号	交配組合せ	関東107号/関東105号				
持 性	2 耐倒伏	ー コースでめん加工; 性が「強」である。					
	短所 1 製粉歩行 2 うどん	収である。 留はやや低い。 二病抵抗性は「弱」 性が「中」である。					
普及見込み面積	福島県 中通り	・浜通りの平坦地	50 h a				
調査場所(播種法)	福島県農業試験場(ドリル播)						
試験年度(播種年)	平成6年~平成10年						
品種・系統名 早晩性 播性程度*	関東117号 中 生 I	中 生 I~II	アブクマワセ 早 生 I~ <u>II</u>				
朱の開開 出穂期(月.日) 戏熟期(月.日) 早長(cm)	中 5.6 6.20 85	中 5.7 6.22 88	やや開 4.29 6.16 84				
恵長(cm) 恵数(本/m²)	9.0 617	8.6 793	7.2 812				
桿の細太 付倒伏性 うどんこ病抵抗性 赤かび病抵抗性 憓発芽性	中 強 弱 極強 中	かか太 強 かか弱 かか弱 嫌	中 強 かや弱 中 やか易				
子実重(kg/a) 対標準比率(%) 千粒重(g) 外観品質	64.2 111 36.7 中の下	57.6 100 35.3 中の中	59.7 104 36.4 中の下				

Ⅲ その他 1 執筆者:丹治克男·荒川市郎

2 主な参考文献・資料: